

# 第3学年英語科学習指導案

日 時：令和4年11月9日（水）5校時  
学 級：花巻市立花巻中学校3年5組  
会 場：3年5組教室  
授業者：塩井 千春

1 単元名 Program5 The Story of Chocolate  
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

## 2 単元について

### (1) 生徒について

生徒はこれまでの4月からの学習で、世界における食文化や睡眠、スポーツや手話等について日本の実情と比較しながら国際理解を深めてきた。また、日本と異なる生活や文化について意欲的に読み取ることで、世界と日本の関わりについて関心が高まってきた。

本学級は、英語に苦手意識をもつ生徒がやや多く自信をもって発表できる生徒が少ない。1学期に行ったアンケートの結果では、「今までの学習でどの力を伸ばせたと思いますか。」という問いに読む力45%、書く力34%、話す力14%、聞く力7%という結果になった。また、「どの力をこれから一番伸ばしたいと思いますか。」という問いに対し、話す力66%、書く力16%、読む力12%、聞く力6%という結果となった。この結果から、生徒達は話す力が不十分だと感じていることと話す力を伸ばしたいという願いを持っていることが分かる。

日々の言語活動においては、友達との英語のやりとりを楽しんで取り組む生徒が多いが、自信のなさやうかがえる。trial and errorがあっても学び合いで修正し、retryしながら自分が伝えたいことを伝えられるようにし、個々の自信を積み上げる指導を続けていきたい。

これまでの学習を通し、即興でやりとりをする力を伸ばすために、導入時に指示したトピックについてスモールトークを1分間英語でやりとりする活動を続けてきた。相手意識をもち、相づちをうったり、相手の言葉を受け止め質問したりし、コミュニケーションスキルを意識して対話を続ける指導も継続してきた。本単元では、関係代名詞の文をトピックにし、言語材料の定着と対話の幅が広げられるように指導したい

### (2) 教材について

本単元では、世界中で愛されているチョコレートの誕生、生産、消費の歴史を扱っている。私達の身近な食べ物の発達過程を知るとともに、その背景に原料となるカカオ栽培で不当に搾取されてきた人々の存在にも気づき、国際社会の多面的な理解を促進することをねらう。

本単元では、中学校学習指導要領解説外国語編「(3) 話すこと [やりとり] イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」について学習できる単元と捉える。

言語材料は、関係代名詞の主格用法を学習する。先行詞に置かれる物や人に関して1文で詳しく説明を加えることができ、詳細な文を理解したり、伝えたりすることができるようになる。本単元では、既習事項の表現に関係代名詞の文章を加えて自己表現することにより、生徒が自己の表現力の幅を広げることができた、という実感を味わえるように指導したい。

### (3) 指導について・研究との関わり

- ・本単元の最終ゴールを「私の友達」というトピックで、2分以上スモールトークを継続することとし、新出文型を活用しながら英語でやり取りする力を育成したい。また、既習表現を用いてこれまで過ごしてきたクラスメイトのよいところや知らなかったことに目を向けることを目的としたやり取りを行うことで、周囲の友達に関する理解を深めることができることを目指す。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫点
  - ① ペア活動、4人グループを主体とした形態の工夫
  - ② ICTの活用の工夫
  - ③ スモールトークの継続と対話の内容のレベルアップ
- ・いわての授業づくり3つの視点について
  - ① 学習の見通し
    - ・振り返りシートに最終的に目指す姿と1時間ごとの目標を示し、見通しと意欲をもち授業に臨めるようにする。

- ② 学習課題を解決するための活動形態
  - ・ペア活動やグループ活動の効果的な位置づけ。
- ③ 学習の振り返り
  - ・評価カードを工夫し、学びの自覚ができるようにする。
  - ・授業内容に応じて、個人内評価や相互評価を用い、次時の目標設定や意欲の向上につなげる。  
(自己調整力の向上)

(4) 単元の目標

これまで過ごしてきたクラスメイトのことをよりよく知ってもらうために、相手の良い所や知らないことについて伝えたり相手からの質問に答えたりすることができる。

(5) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
話すこと 「やり取り」	<p>[知識] 関係代名詞の主格用法について、文構造、意味、使い方について理解している。</p> <p>[技能] 伝えたい人や物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、関係代名詞の主格用法などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>【目的等】に応じて、【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p>	<p>【目的等】に応じて、【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>

(6) 単元の指導と評価の計画

学習活動 ■ねらい ・ 具体的な活動		評価の観点			●評価規準 【評価方法】
		知	思	態	
1	<p>■関係代名詞 (who) の主格用法の文構造を理解する。</p> <p>・電子黒板の人物について、関係代名詞(who)を用いて説明する。</p> <p>・自分の友達を説明する文を書く。(ペアで交流する)</p>	<p>記録に残す評価は行わない。ただしねらいに即して生徒の活動状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないようにする。</p>			
2	<p>■関係代名詞 (who) の主格用法を用いた文を用いた言語活動に意欲的に取り組む。</p> <p>・シーン1の内容を理解し、チャンツで文を暗唱する。</p> <p>・関係代名詞 who を用いて将来どのような人になりたいのかペアとグループで伝え合う。</p>				
3	<p>■関係代名詞 (which) の主格用法の文構造について理解する。</p> <p>・電子黒板の絵について、関係代名詞(which)を用いて説明する。</p> <p>・動物を説明する文を書く。(ペアで交流する)</p>				
4	<p>■関係代名詞 (which) の主格用法を用いた文を用いた言語活動に意欲的に取り組む。</p> <p>・シーン2の内容を理解し、感情を込めてペアで音読する。</p> <p>・動物の特徴を表すヒントを考えクイズを作り、ペアやグループでクイズを出し合う。</p>				

5	<p>■関係代名詞 (that) の主格用法の文構造について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の人物や物について、関係代名詞 (that) を用いて説明する。</li> <li>机の上にある物を説明する文を関係代名詞 (that) を用いて書く。ペアで交流する。</li> </ul>				
6	<p>■シーン3の内容を理解し、感情を込めてペアで音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵カードを用いてカルタ大会を開く。(出題は絵について先行詞を人にした時と物にした時に分ける。4人グループで出題は順番に生徒が行う。)</li> </ul>				
7	<p>&lt;Think 1&gt;</p> <p>■健とエミリーの対話を読み、チョコレートの起源を読み取る。</p>				
8	<p>&lt;Think 2&gt;</p> <p>■健の発表を読み、チョコレートがどのように生まれ人気が出るようになったのか読み取る。</p>				
9	<p>&lt;Think 3&gt;</p> <p>■エミリーの発表を読み、チョコレートの歴史の暗い一面について読み取る。</p>				
10 本時	<p>&lt;Interact&gt;</p> <p>■自分の友達についてスリーヒントクイズを出し合いながら友達と1分30秒以上やりとりする。</p>				【形成的評価】
11	<p>&lt;Step4&gt;</p> <p>■文どうしの関係を明確にする「つなぎ言葉」を用いると分かりやすい文章を構成することができることに気づく。</p>				
12	<p>&lt;Word Web2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私の友達」というトピックで、自分の友達の素敵な面を伝えるために友達と2分以上スモールトークを行う。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●B・・・友達の紹介文を聞き取り、聞いた内容について質問をしたり、関連する情報について対話を続けている。</li> <li>●A・・・友達の紹介文を聞き取り、聞いた内容について質問をしたり、関連する情報について自分の感想をつけ加えながら対話を続けている。</li> <li>●支援を要する生徒・・・つまずきに対するヒントを与え自力解決できるように支援する。</li> </ul>

### 3 本時について

#### (1) 本時の指導目標

紹介したいクラスメイトについてスリーヒントを基に、質問をしたり伝えたい内容を付け加えたりしながらやり取りを行うことができるようにする。

#### (2) 本時の評価規準

友達のヒントを聞き、質問をしたり、伝えたい内容を付け加えたりしながら1分30秒以上やり取りすることができる。

#### (3) 本時の指導構想

自分の考えを即興でやりとりするスモールトークを2年生の2学期から取り組ませている。本単元の目標は、このスモールトークを1分から2分に伸ばしやりとりする力を伸ばすことである。

本時は、授業の導入時に言語材料の関係代名詞の主格用法の復習をする。展開時は、関係代名詞を用いてスリーヒントを出し合う活動を行うが、ただの答え合わせで終わらせるのではなく、3つのヒントで分からなければ質問をしたり、答えが分かれば答えを説明する文章を新たに伝えたりし、プラス1文を目標

にやりとりの内容を深める授業を目指したい。また、本時の学習を通して、周囲の友達について理解を深められる授業にしたい。

学習の振り返りは、学習シートの授業の感想の記述と振り返りシートを用いて行い、本時の学習の見とりと指導改善につなげていきたい。

本時の学習を通して、既習事項と新しく学んだ言語材料を用いてアウトプットし、自己の英語の表現力の向上や英語で伝える楽しさを感じ取れるようにし、今後の学習に主体的に学ぶ意欲につなげたい。

研究主題との関わりについては、「いわての授業づくり3つの視点」を取り入れ、1時間の授業を組み立て、生徒にとって効果的な学びの構築となる授業を目指したい。

(4) 本時の展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	【評価】
導入 10分	1 Warm Up ・ Small Talk を行う。 2 Review ・ 関係代名詞の主格用法の確認。 ・ 教師のスリーヒントクイズに答える。	・ 相づちや質問をし合いながら、つながりのある対話を続けるようにする。	
<b>学習課題</b> <b>友達の良さや知らないことを伝え合うことができる！</b>			
展開 30分	3 Practicing ・ 考えたクイズを表現力豊かに伝える練習をする。 4 Communication Activity (1) 【前半のやり取り】 ・ 隣の人とスリーヒントクイズを出し合う。(1分30秒) ・ お互い答えが分かったら、相手の友達について聞きたいことを質問し合い、やり取りを続ける。 ・ 答えが分からなかったら、解答者は出題者にもう1文ヒントをもらったり質問をしたり、それでも分からない場合は誰なのか教えてもらい、やり取りを続ける。 ・ 偶数列が一席ずつずれ、違う相手とクイズを出し合う。 (2) 【前半のやりとりの課題の共有】 ・ どう伝えれば良いのか分からない表現ややりとりのどこにつまずいたのか全体で確認し合う。 (3) 【後半のやり取り】 ・ (2) で共有したことを取り入れ前半よりもやり取りをスムーズに行う。	・ 机間指導し、つまづく生徒に支援する。 ・ コミュニケーションスキルを意識させる。 ・ 答えた後も対話を続けることを大切にさせる。 ・ やってみて分かった課題やつまづきを確認し、課題をクリアして後半のやり取りが深められるようにする。	・ スリーヒントクイズを基に、質問をしたり答えたりしながらやり取りを継続していたか。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・ スリーヒントクイズを基に、質問をしたり答えたりしながらやり取りを継続しようとしていたか。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>
終末 10分	5 Presentation ・ 代表ペアがやり取りを発表する。 ・ 友達の発表の良い点を学ぶ。 6 Looking back ・ 本時の学習の振り返りを振り返りシートで振り返る。 ・ 学びの気づきを学習シートに文章で書く。 7 次時の予告 ・ 次時の学習内容と宿題の確認	・ 発表内容を理解させ、発表の仕方の良い点に着目させる。 ・ 学びを共有させる。	

